公益財団法人 大 隅 基 礎 科 学 創 成 財 団
〒226-8503 横浜市緑区長津田町4259 S2-16
TEL: 045-459-6975
FAX: 045-459-6976
URL: www.ofsf.or.jp

第５期第１回創発セミナー（オンライン開催）

地球環境を支える植物と微生物の共生

現在、地球環境、地球温暖化の問題は国際的にも、人類の未来を左右する大きな問題として、広く関心をもたれています。地上の生態系は窒素と炭素の循環の上に成り立っています。今回は窒素循環で最も重要な窒素固定過程と、炭素循環に焦点を当てて、お二人の方から植物と微生物の関わりについてお話を伺い議論を深めることにしました。
今回も時節柄オンライン形式での開催となりますが、奮ってご参加ください。

【日時】2021 年 10 月 21 日(木) 16:00～18:00 (受付 15:45～16:00)

【開催形式】Zoom オンライン

【内容】
16:00－16:05：開演挨拶
16:05－16:45：講演１　基礎生物学研究所 共生システム研究部門 教授　川口 正代司 氏
「陸上生態系を支える２つの共生」

マメ科植物は根粒菌を細胞内に取り込むことで、大気中の窒素分子をアンモニアに変換するコブ（根粒）を進化させた。共生の仕組みを明らかにするために日本に自生するミヤコグサを用いて研究を進めたところ、４億年以上前にはじまる不思議な菌類との共生が見えてきた。講演では陸上生態系を支える２つの共生について紹介する。

16:45－17:00：質疑応答

17:00－17:40：講演２　大隅基礎科学創成財団理事、京都大学農学研究科教授　阪井 康能 氏
「温室効果ガスの炭素循環を担う C1 微生物はどのようにして葉面で生きていくのか？」

地球環境で高い温室効果活性をもつメタンと CO_2 の間で炭素が循環している。広大な植物葉面（地球表面積の約２倍）には、炭素原子を１つしか持たないメタンやメタノールが存在し、それを食べる C1 微生物が大量に棲息している。C1 微生物は宿主との物質交換、相利共生などの相互作用を通して植物の生長を助け、温室効果ガス削減や農業生産にも貢献している。C1 微生物が植物葉面でどのように生きていくのか、紹介する。

17:40－17:55：質疑応答

17:55－18:00：閉会の挨拶

【参加費】無料

【申込：事前登録制】定員 300 名
以下 URL または QR コードにアクセスしてお申し込みください。

このミーティングに事前登録する：
https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZAsc-GtpjgqH9zg_ousxqU_nM7Zp6ZA_fG3

QR コード：

【お問い合わせ先】
公益財団法人 大隅基礎科学創成財団　大竹・福田・竹島
TEL：045-459-6975, FAX：045-459-6976, E-mail：event@ofsf.or.jp